

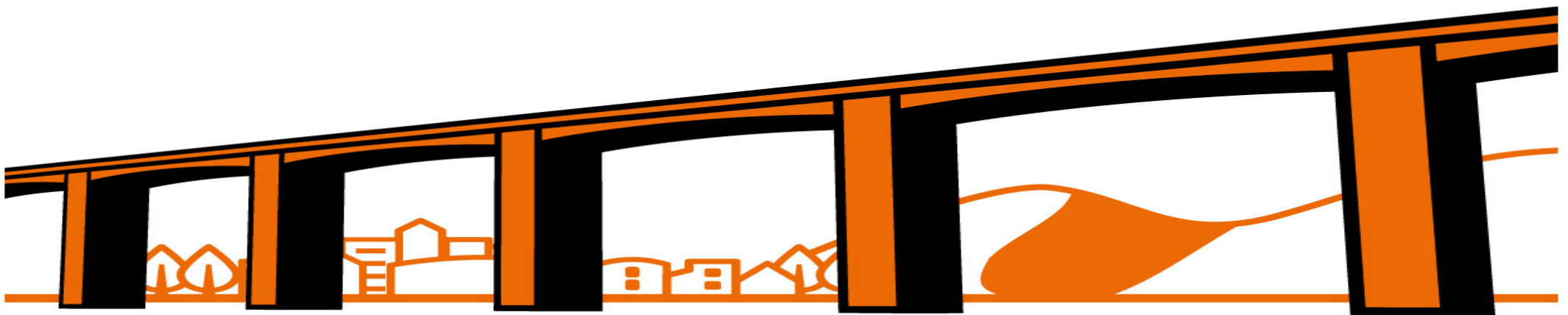
2025年3月期 第2四半期（中間期）

# 決算説明資料

2024年11月8日



株式会社富士ピー・エス



# 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算ハイライト

## ➤ 建設業における事業環境

- 国土交通省発表の2024年度の建設投資は73兆200億円となる見通し（2023年度比2.7%増）
- 当社加盟のプレストレスト・コンクリート建設業協会の受注実績は2023年度4,100億円に対し、本年度は微減の見通し、新設から維持補修・更新市場へシフト

## ➤ 当社における事業環境

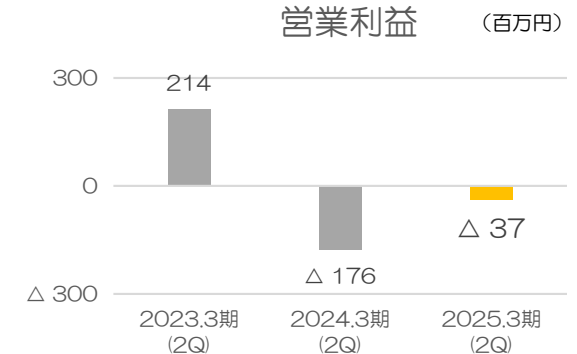
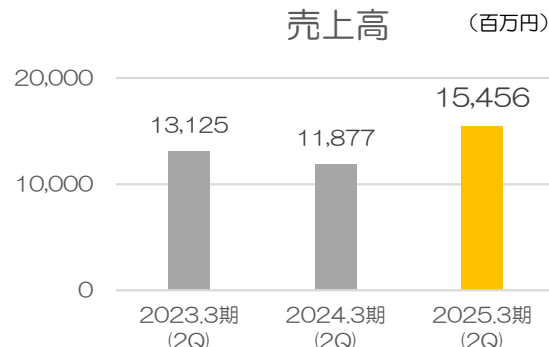
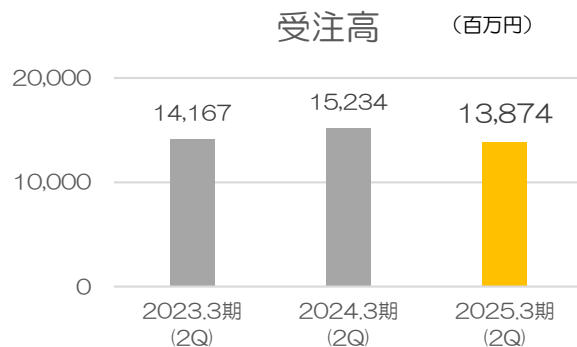
- 土木分野は、政府主導の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」や高速道路会社の「中期事業見通し」などから、引き続きインフラ老朽化対策など必要性の高い事業を中心に底堅く推移していくと見込む
- 建築分野は、主に首都圏を中心とした再開発事業が順調に進んでおり、市場は回復に向かうと見込む

# 2025年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績の概要（3期業績推移）

受注は一部契約の遅れ等で減少するも、売上高は潤沢な手持工事が順調に進捗し増収

（単位：百万円）

連結	2023/3期 (2Q)	2024/3期 (2Q)	2025/3期 (2Q)	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	14,167	15,234	13,874	△1,359	△8.9%	土木事業は一部下請工事契約が下半期にずれ込んだこと等により減少するも、建築事業は関西・中部地区におけるマンション事業の発注が順調に推移したことにより堅調
売上高	13,125	11,877	15,456	3,579	30.1%	土木・建築事業共に潤沢な手持工事が概ね順調に進捗したことにより増収
売上総利益 (売上総利益率)	1,755 (13.4%)	1,405 (11.8%)	1,602 (10.4%)	197	14.1%	建築事業は建設コスト高騰の影響を受け採算性は悪化したが、土木・建築事業共に売上高が増加したことにより増益
営業利益 (営業利益率)	214 (1.6%)	△176 (△1.5%)	△37 (△0.2%)	138	— %	売上総利益の増加による赤字幅の減少
経常利益	228	△178	△28	149	— %	同上
親会社株主に帰属する 中間純利益	101	△90	△76	14	— %	前期は特別利益に国道拡幅に伴う土地の収用に係る補償金の一部受領分を計上

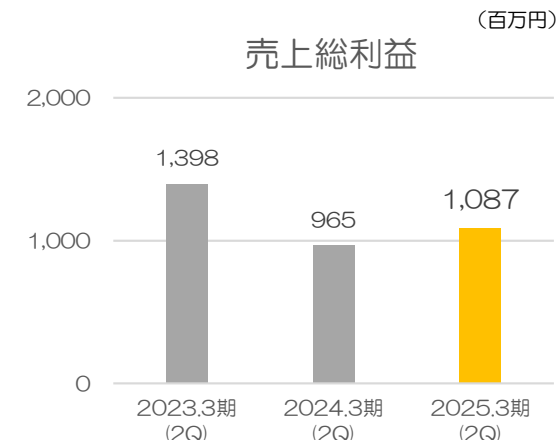
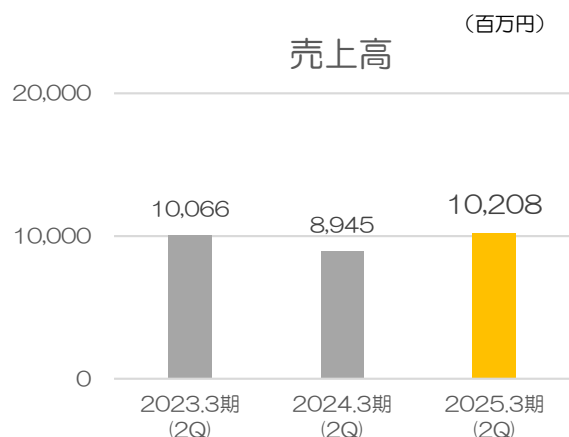
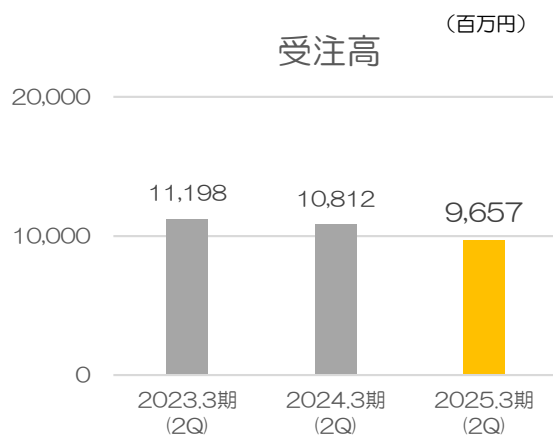


# セグメント別業績（土木事業）

受注高は減少したが、売上高・売上総利益は大型工事の進捗が順調に進んだことにより増収・増益

（単位：百万円）

連結	2023/3期 (2Q)	2024/3期 (2Q)	2025/3期 (2Q)	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	11,198	10,812	9,657	△1,155	△10.7%	前期に引き続き、国土交通省、高速道路会社、地方自治体よりバランスよく受注できたものの、一部下請工事契約が下半期にずれ込んだこと等により減少
売上高	10,066	8,945	10,208	1,263	14.1%	手持工事は、概ね順調に進み、特に関西・関東地区でのNEXCOを中心とする大型工事の進捗が順調に進んだことから増収
売上総利益 (売上総利益率)	1,398 (13.9%)	965 (10.8%)	1,087 (10.7%)	122	12.7%	売上高の増加により増益

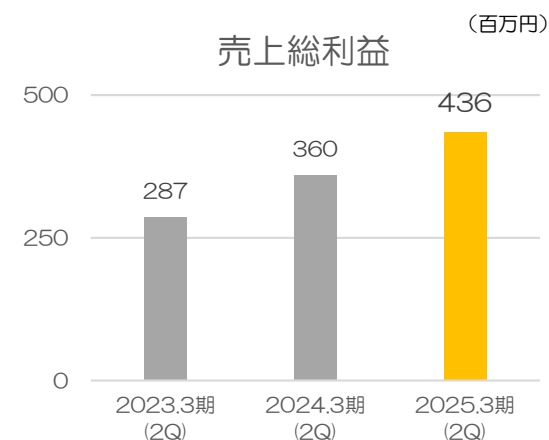
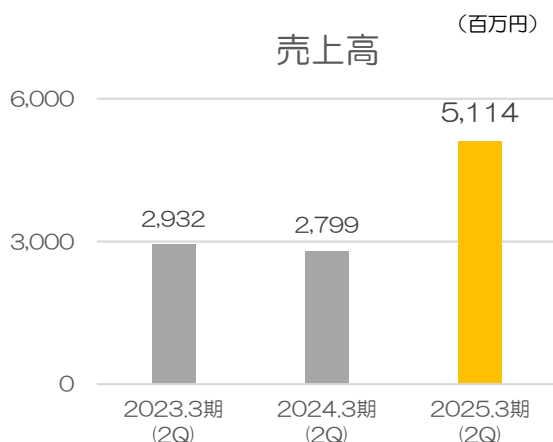
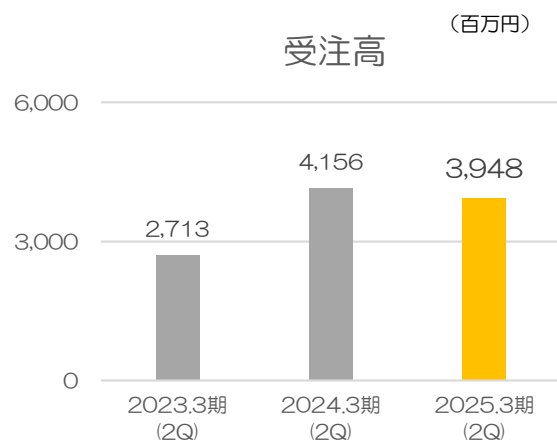


# セグメント別業績（建築事業）

受注はマンション事業の新規発注により堅調、売上高・利益は手持工事が順調に進捗したことにより増収・増益

（単位：百万円）

連結	2023/3期 (2Q)	2024/3期 (2Q)	2025/3期 (2Q)	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	2,713	4,156	3,948	△207	△5.0%	前期に関東地区の大型再開発事業の早期受注をしたことによる反動減はあったが、関西・中部地区におけるマンション事業の発注が順調に推移したことにより微減
売上高	2,932	2,799	5,114	2,314	82.7%	関西・中部地区で耐震補強工事等の進捗好転及び首都圏・近畿圏の大型再開発現場が順調に進捗したことにより大幅な増収となる
売上総利益 (売上総利益率)	287 (9.8%)	360 (12.9%)	436 (8.5%)	75	20.9%	建設コスト高騰の影響を受け採算性は悪化したが、売上高の増加により増益

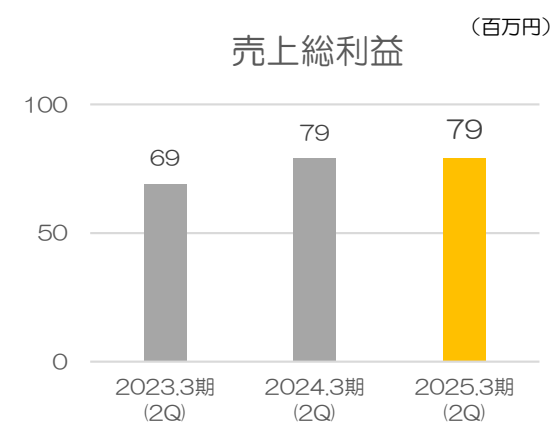
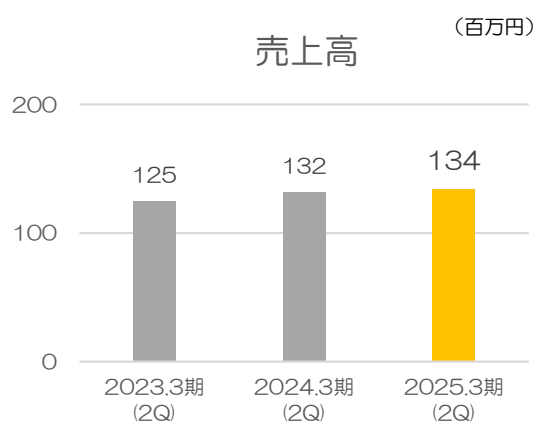
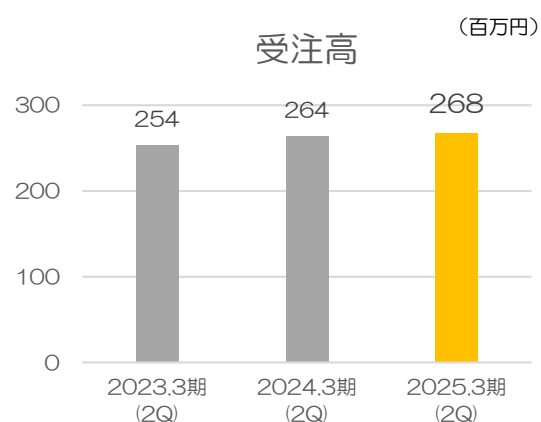


# セグメント別業績（不動産賃貸事業）

テナントの入居率は堅調に推移

（単位：百万円）

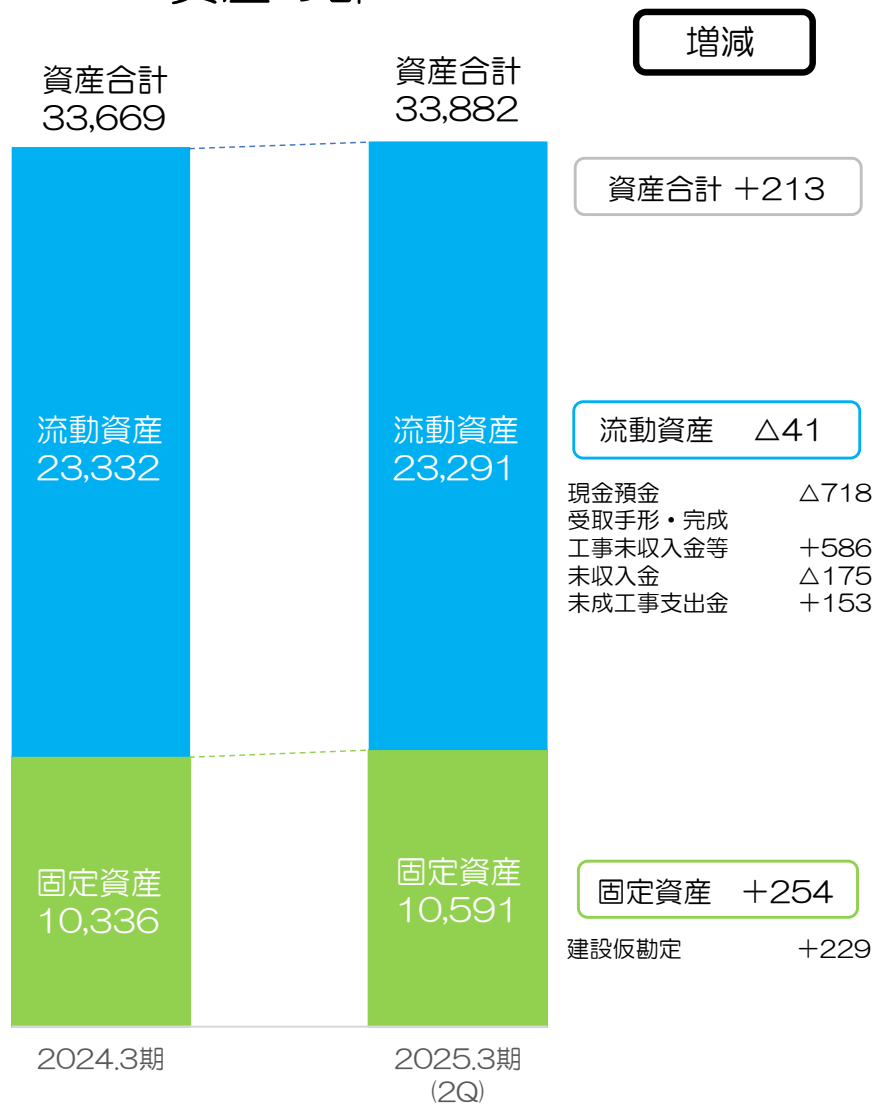
連結	2023/3期 (2Q)	2024/3期 (2Q)	2025/3期 (2Q)	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	254	264	268	3	1.5%	受注高、売上高、売上総利益ともに堅調に推移
売上高	125	132	134	1	1.2%	
売上総利益 (売上総利益率)	69 (55.8%)	79 (59.7%)	79 (59.0%)	△0	△0.0%	



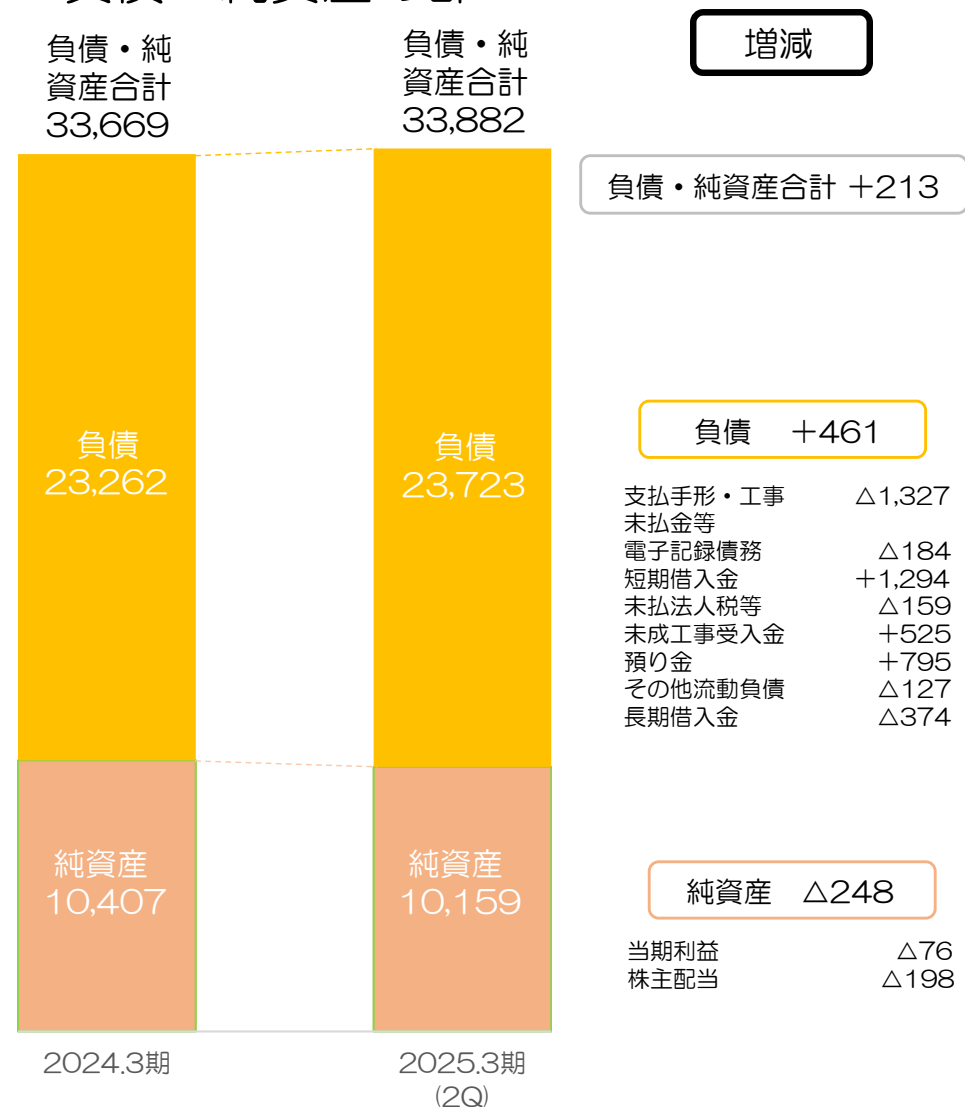
# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

## 資産の部



## 負債・純資産の部

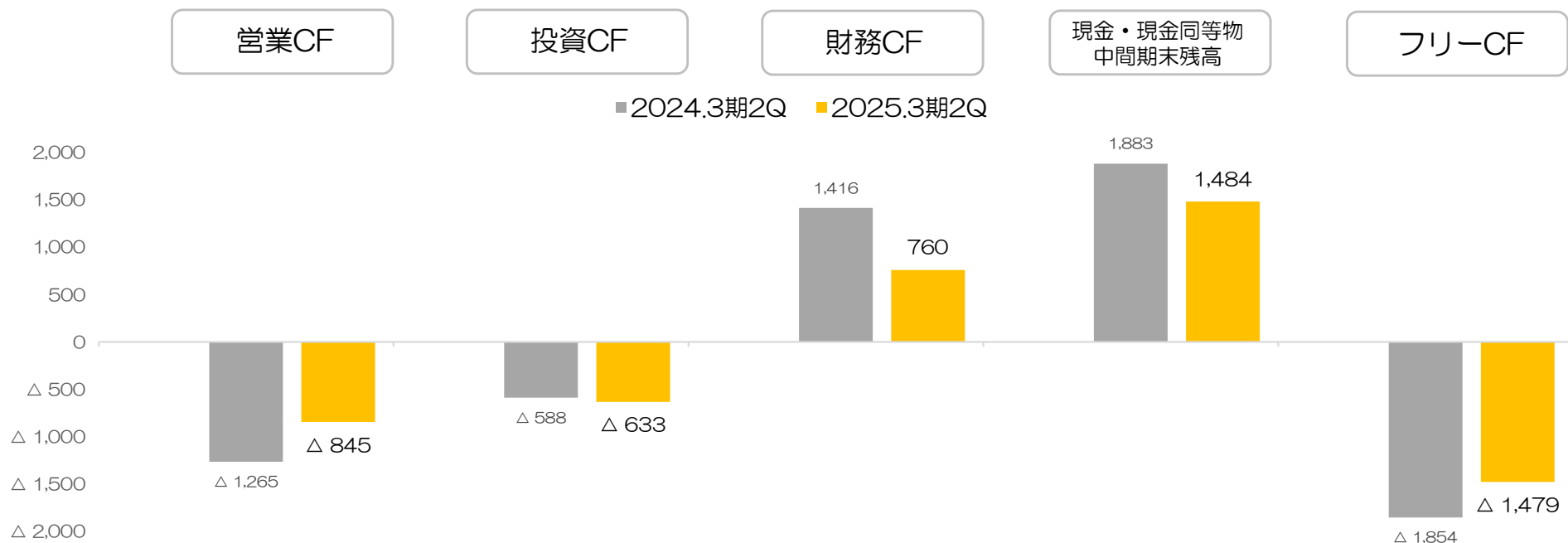


# 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

連結	2024/3期 (2Q)	2025/3期 (2Q)	コメント
営業CF	△1,265	△845	主に売上債権の増加、仕入債務の減少による
投資CF	△588	△633	九州小竹工場のリニューアルを中心とした有形固定資産を取得したことによる
財務CF	1,416	760	金融機関からの資金調達による
現金・現金同等物中間期末残高	1,883	1,484	
フリーCF (営業CF+投資CF)	△1,854	△1,479	

(単位：百万円)



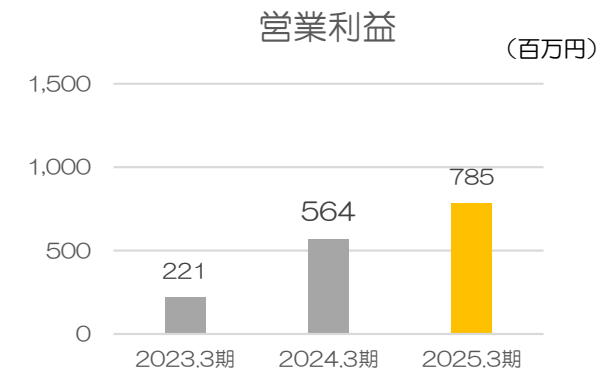
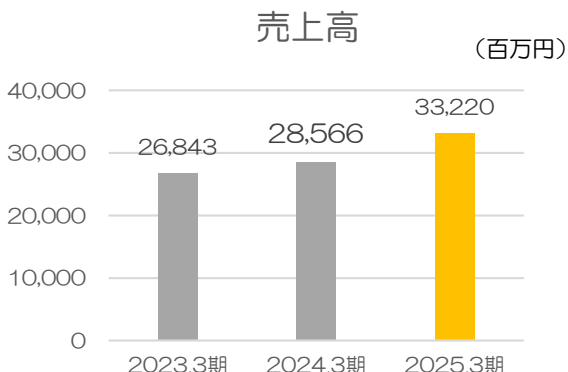
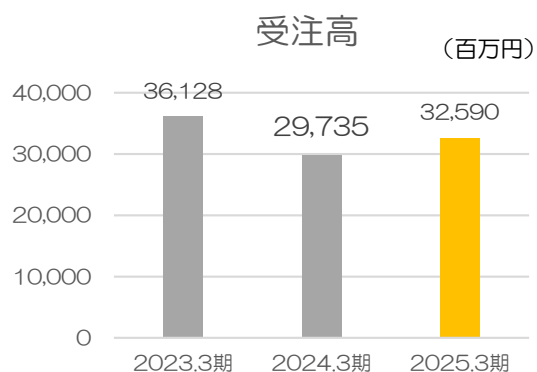


# 2025年3月期 連結業績予想（3期比較）

過去最高の手持工事等の順調な進捗により増収・増益見込み

（単位：百万円）

連結	2023/3期 （実績）	2024/3期 （実績）	2025/3期 （予想）	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	36,128	29,735	32,590	2,854	9.6%	堅調な市場環境のもと手持工事を踏まえ受注確保
売上高	26,843	28,566	33,220	4,653	16.3%	手持工事及び工場製品の順調な進捗により増収予想
売上総利益 （売上総利益率）	3,372 (12.6%)	3,772 (13.2%)	4,230 (12.7%)	457	12.1%	売上高の増加により増益予想
営業利益 （営業利益率）	221 (0.8%)	564 (2.0%)	785 (2.4%)	220	39.0%	売上総利益の増加に伴う増益予想
経常利益	226	550	750	199	36.3%	同上
親会社株主に帰属する 当期純利益	123	415	425	9	2.3%	同上

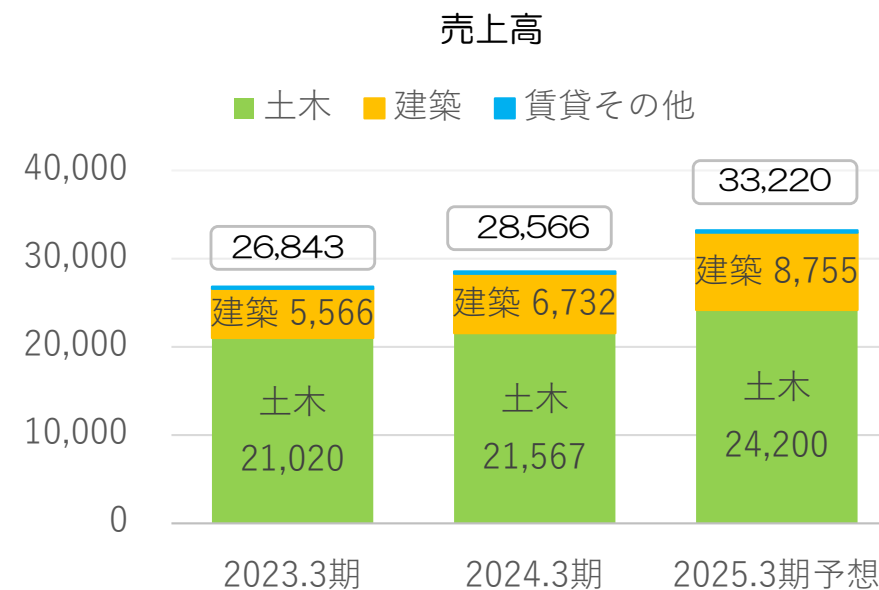
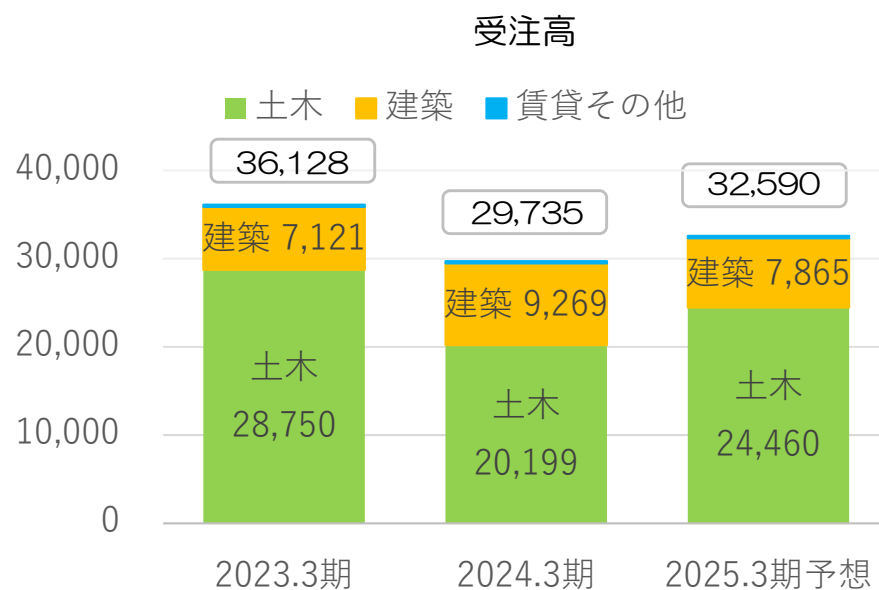


# 事業別業績予想

(単位：百万円)

	2025年3月期予想				主な増減要因
	受注高	前期比増減率	売上高	前期比増減率	
土木事業	24,460	21.1%	24,200	12.2%	手持工事及び工場製品の順調な進捗により増収予想
建築事業	7,865	△15.1%	8,755	30.0%	マンション事業の工場製品の製作が順調に進捗して増収予想
不動産賃貸事業、その他	265	△0.2%	265	△0.2%	受注、売上ともに堅調予想
合計	32,590	9.6%	33,220	16.3%	

(百万円)



# 株主還元

## 基本方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図りながら、安定配当を実施する

前事業年度の配当につきましては、当社が2024年3月19日をもちまして、創立70周年を迎えましたことから、普通配当9円に創立70周年記念配当2円を加えた1株当たり11円の配当を実施

	2023/3期 (実績)	2024/3期 (実績)	2025/3期 (予想)
1株当たり年間配当	9.00円	11.00円	9.00円
配当性向	131.2%	47.7%	38.1%
株主資本配当率 (DOE)	1.6%	1.9%	1.5%

# 【参考】繰越工事高（個別）

## 当期の主な受注工事

切羽	工事名称	発注者	工事概要	工事場所
土木	中央自動車道（特定更新等）中野橋床版取替工事（2023年度）	中日本高速道路(株)	「半断面施工を対象とした移動型PC床版架設機による床版取替技術に関する共同研究」に伴う床版取替、鋼桁補強等工事	山梨県
土木	県道直方芦屋線西祇園橋橋梁上部工工事	福岡県	県道直方芦屋線西祇園橋の橋梁架替工事	福岡県
土木	熊本3号境川橋上部工（A1-P3）工事	国土交通省九州地方整備局	南九州西回り自動車道の内、熊本県と鹿児島県との県境に架かる橋梁新設工事	熊本県
建築	(仮称)古川橋駅前計画新築工事	(株)大林組	RC40階建新築マンション工場のFR板製作・運搬	大阪府
建築	大崎駅西口F南地区第一種市街地再開発事業	南海辰村建設(株)	RC27階建新築マンション工場のFR板製作・運搬	東京都
建築	(仮称)大阪市北区中崎1丁目計画新築工事	西松建設(株)	RC38階建新築マンション工場のFR板製作・運搬	大阪府

## 繰越工事高

